


令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：多良木町立多良木中学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> 生徒会環境委員会で昨年度の宣言を基に令和6年度の環境ISO宣言を作成し、生徒総会で採択した。 環境ISO宣言は、学級や校内に掲示し、啓発を行った。
行動	    	<p>〈今年度の新しい取組〉</p> <p>1 第1回「多良木中学校スポ GOMI 競技大会」の実施（概要）</p> <p>(1) 実施日時 令和6年11月23日（土） 9:00～10:35</p> <p>(2) 実施場所 多良木町内市街地周辺</p> <p>(3) 主催 多良木中学校生徒会環境委員会及びボランティア委員会 多良木中学校 PTA 環境委員会 同 学校運営協議会（環境安全コミュニティ）</p> <p>(4) 競技方法 下記の部門の重量で各グループ1位、2位、3位を表彰する (燃えるゴミの部) (燃えないゴミの部)</p> <p>(5) 班編制及び活動場所の決定 ・参加者数を見て4つにグループ分けをし、グループの名前付け、及びグループ長の選出。各グループに保護者及び教師が付く。 ・あらかじめ市街地を区切ってある10枚の地図から抽選で好きな場所を選ぶ。</p> <p>(6) 準備物 軽トラック、トング、手袋、計量器、燃えるゴミ袋、燃えないゴミ袋、集計表等</p> <p>(7) 主な流れ ・開会式⇒移動⇒競技（活動）⇒集合、ゴミの仕分け・計量⇒後片付け⇒成績発表⇒講評⇒解散</p> <p>(8) 総括（参加者の感想・意見から） ・活動前後や活動中に、町民から感謝された。 ・活動時間30分は参加者の3分の1から妥当と評価。もう少し長くてもよいという感想が残り3分の1。 ・来年度は全校生徒、全保護者に呼びかけて実施する。ゆくゆくは町民にも呼びかけて町全体にISO意識向上の輪を広げる。</p> <p>2 中学生議会（多良木町主催）で生徒会環境委員会より具体的取組の質問と提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 多良木町とタイアップして昨年に引き続いて第2回目の中学生（子供）議会を実施し、その中で多良木中学校環境委員会が多良木町議会に道路整備やタバコのポイ捨て防止

	 	<p>策について具体的な取組を提案。12月の議会本番までに10月から活動を始め、アイデア作りから構想案作りなど、本番の質問成案まで8単位時間かけて取り組んだ。</p> <p>〈その他の取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学級に使用済み紙のリサイクルボックスを設置 ・「我が家のSDG s」アンケートの結果を全家庭に配付 ・総合的な学習の時間に学年毎に地域に出かけて、クリーン大作戦を実施 ・生徒会環境委員会による「SDG s」クイズを、SDG s 理解推進旬間を設けて給食時に校内放送で実施 ・夏季休業中（8月4日）にPTA親子美化作業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◇学級の環境委員が「黙働清掃」プラカードを持って、全掃除箇所を周り、校内美化の充実に努めた。 ◇学級花壇については、夏の水やり、雑草取り、花植えなどをやって、学校全体の学習環境の整備に努めた。
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・「スポ GOMI」や「クリーン大作戦」等の環境に関する行事やその他の取組を記録する係の生徒及び職員を決めてカメラや記録ノートを使って記録に努めた。 ・その記録されたものを使って、学校の生徒や家庭、及び地域に対して取組を啓発した。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会環境委員会やボランティア委員会を1月に行い、各委員会の年間活動総括（案）を提出して、3月までに見直しを行う。 ・管理職や事務職員でカラーコピー機や印刷機の使用状況を整理し、コスト削減につながる教育機器の整備を行った。 ・3月の職員会議で、令和6年度の「学校版環境ISO」の取組の総括を行い、見直す項目を挙げ、次年度の充実に向けての課題を協議する予定である。

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>1 初めて取り組んだ「スポ GOMI」競技大会の成功が今年一番の成果であった。参加した生徒や PTA の委員、学校運営協議会の委員、学校職員それぞれの高い評価が得られ、参加者の充実感や達成感が見られた。さらに、この取組が郡市に広く読者をもつ人吉新聞に写真付きの大きな記事として取り上げられた。</p> <p>2 多良木町議会とタイアップした「第 2 回中学生議会」は学校版 ISO から見た具体的取組を提案できたことは良かった。町の行政側からの答弁から、それが今後の町政に生かされることが分かった。さらに、その内容が町の広報誌に詳しく載せてもらうことができ、この取組を広く町民全体に知らせることができた。</p> <p>3 黙働清掃はここ数年掃除のメインに据えて取り組んできた。まだ 100%達成とはいかなかったが、ほぼ無言で掃除ができるようになった。校内美化にも大きく繋がり、掃除に対する意識が高まってきた。</p> <p>4 ペットボトルキャップ等の収集はボランティア委員会とタイアップして実施し、昨年度を上回る成果を上げた。</p> <p>5 教室移動等で電気、エアコン等の切り忘れがないよう、強化旬間を設定して取り組んだ。特に放課後は環境担当職員を中心に全教室を見回って教室等を点検し、節電に努めた。</p> <p>6 SDG s の理解推進を目的に給食時に行った「SDG s クイズ」は生徒に好評だった。</p> <p>7 夏期休業中の親子美化作業は生徒、保護者、学校職員が集まって行い、全家庭の 62% の参加の中で実施された。</p>	<p>1 「スポ GOMI」競技大会については来年も規模を大きくして実施することに決まったが、集合場所、準備物、後片付け、班編制、取組箇所の設定等、新たな課題が出てくる。来年度は計画から呼びかけ方法、参加者数の把握方法から見直して、準備を早めたい。</p> <p>2 町長や執行部、それに全議員が出席している中で、町で取り組める SDG s に関する内容について、生徒の環境委員会やボランティア委員会から提案したことは画期的な取組だった。その提案に対して町執行部の見解や回答を引き出すことができたことも大きな成果があったが、今後の課題は例えば「スポ GOMI」等の提案を町民挙げての具体的な取組を実現していくことである。</p> <p>3 職員アンケートによると、職員の環境教育に対する意識に差があり、その結果として取組に差が見られる。年度当初の職員会議での提起を強化し、環境担当からの年間を通した呼びかけを強化して職員の意識を高めたい。「我が家の SDG s」の取組については、結果の広報紙を全家庭に配るなどして保護者の意識向上に努めたが、今後の課題として、アンケート項目を充実させたい。</p> <p>4 毎年取り組んでいるが、ややマンネリ化していて、生徒・職員の意識に差が見られる。再度意識の高揚を図り、呼びかけ方法を工夫したい。</p> <p>5 放課後の教室パソコンやモニターが消し忘れていることが、まだある。職員の節電意識をさらに高めるとともに、環境委員会の活動を見直すなどして、消し忘れを限りなくゼロに近づけたい。</p> <p>6 環境委員リーダーの意識をさらに高めたい。図書室の環境関係本の活用等を促し、より楽しく、より分かりやすい取組を工夫していきたい。</p> <p>7 ここ数年、参加率が増加している。事前のお知らせや各家庭の意識が高まってきていると言える。夏期休業中なので広報しにくいのが、来年度は作業の様子を第 2 学期の始めに周知するなどして、さらに参加率を高めたい。</p>